

# 大野岳

教育目標「ふるさとを愛し 夢・志をもつ児童生徒の育成」

～ふるさとに学ぶ ふるさとを学ぶ ふるさとの人と共に歩む～

令和5年7月20日発行

文責 校長 中尾 聡彦

## 1学期を振り返って(終業式での話)

今日で1学期が終わります。振り返ってみて、どんなことが思い出されますか？

みなさんには、1学期の最初に「夢を持つこと」の意味や大切さを話しました。

「夢を持つこと」ができれば、自分の「夢」や「憧れ」に向かうエネルギーがあふれてくる。このことが「学び(勉強すること)」や「努力」する姿につながる。努力せずしてかなう「夢」はありません。「夢」に向かう中で失敗したり、くじけたりすることがあるでしょう。失敗を恐れずに、どんどん失敗したり、くじけたりすることができる場所が学校なのではないかと思います。

1学期を振り返って印象的だった出来事を紹介します。

まずは、前期課程のある子の話です。この子の「夢」は「画家になること」です。そのために、毎日、家で何枚も絵を描いているということです。先日、校長先生の所に一枚の絵をもってきてくれました。大切な絵の中から、この子が初めて人にプレゼントした「絵」だそうです。とても嬉しかったので校長室に飾っています。この子の「夢」を応援したいと思います。

それから、野球部のがんばりです。4月の初めには一人だった野球部ですが、今では3人で活動しています。3人で野球の練習をするのは大変です。しかし、いつの日かチームとして試合に出ることができる日を夢見て頑張っています。野球部の「夢」を応援したいと思います。

中体連での出来事です。

ソフトテニスの試合では、緊張で練習の時のように体が動かない中、懸命に勝利に向かってボールを追いかけている姿がありました。

卓球の個人戦では、一人で相手に立ち向かわなければなりません。だれにも頼ることができない中、自分を奮い立たせて立ち向かっている姿がありました。

バレーボールの試合では、準決勝の1セットまでは緊張のせいか表情も硬く見えてましたが、最強の応援団を見たとき、初めて笑顔があふれました。強豪相手にギリギリのところ立ち向かっていたのが伝わってきました。

バドミントン、陸上、男子バレーボールでも同じような光景が見られたと思います。

他にもたくさんありますが、こんな皆さんの頑張りに、久しぶりに心が震えた1学期でした。時には感動して涙が出ました。「夢」「憧れ」に向かって努力する姿は美しいと思いました。

また、「わたしたちの郷学館は、わたしたちが創る」という意味では、7月13日の昼休みに7年生がプレイルームでコンサート(合唱)を開いてくれたことが挙げられます。14日には、5年生が中庭で本の読み聞かせをしてくれたことも印象的でした。自分たちでイベントをつくるという

もいい取り組みだと思います。この取り組みは、私の夢を一つかなえてくれたように思います。  
明日から、長い夏休みです。どう過ごすのか？担任の先生方と考えてみてください。  
どんな夏休みにするかは、あなた次第です！



### 地域の方から寄付をいただきました

- 府招上の緒方幸彦様より図書カードをいただきました。緒方様には、毎年図書の充実のために寄付をいただいております。ありがとうございました。
- 地域の方(名前は伏せてほしいということからあえて地域の方と表記しています)から、学校に誇りをもってほしいという願いから国旗と校旗、児童生徒会活動で活用してほしいということからタブレット、そして音楽活動に活かしてほしいということからギターをご寄付いただきました。ありがとうございました。

### 明日から夏休み・・・

今年の夏も暑くなりそうです。私たちの子どものころを思い出しますと、朝はラジオ体操前の5時半ぐらいから、先輩たちに連れられて近所のお寺にカブトムシやクワガタを採りに行っていました。午前中は、10 時までは家で勉強というのが暗黙のルールで、その後は学校のプールへ行って友だちと思い切り遊んでいました。夕方は夕立に遭い、びしょ濡れになって帰ったこともしばしばありました。先輩たちや友だちと喧嘩になり泣かされたこともありました。でも次の日は、また一緒にカブトムシを採りに行っていました。基地を作っては、自分たちの宝物を持ち寄ったり、秘密のルールを楽しんだりもしました。今思えば、夏休みは、ゆるやかな時間の流れの中で大切なことを学んでいたように思います。

今年の夏休みは、子どもたちにとって、どんな夏休みになるのでしょうか？

2学期の始業式で、いろんな思い出話を聞かせてほしいと思います。



この QR コードを読み込まれると、南波多郷学館のホームページをご覧になられます。